

セネガルの子どもたちに教育を！

バオバブの会ニューズレター 通巻 17 号 2011 年度 1 号 2011 年 2 月 19 日発行

立春も過ぎたとはいえ、まだまだ寒さが続いておりますが、皆様方にはお元気でお過ごしでしょうか。今回のニューズレターは、1 月 30 日に行いました第 4 回総会の報告を中心にお届けいたします。本年は任意団体としての 4 年目にあたり、セネガルへの支援活動も新しい展開を予定しておりますので、一層のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

*** 年次総会報告 ***

1 月 30 日（日）、かながわ県民サポートセンターにて、2011 年度の年次総会が開かれました。（支援金の金額を円と Fcfa の両方で表記しましたが、為替レートが送付時毎に変動することにご注意ください）

●新会計選出

旧会計の K さんが、JICA 青年海外協力隊員として、3 月末より、ネパールに派遣されることになりました。それに伴い、会計の選出を行い、新会計は飯山さんに決まりました。

●2010 年度のセネガルへの支援活動

（1）調査フォーム

より効果的な支援活動のために、2008 年度に、初めて、学校情報、援助金受領証、使途報告書からなる調査フォーム一式を送りました。2009 年度には、さらに詳細な改訂版（学区内の就学状況や、障がい児について、援助後アンケートなどを加えた A～F）を送付しました。

両年度とも全学校から回答があり、翌年の支援計画作成の基礎資料になりました。

が、2010 年度は、さらに改善の必要があるということで、フォーム D の援助金受領証のみを送付し、既に全校から返送されています。

その他のフォームについては、現在、運営委員会で検討中です。

（2）定期支援

2010 年 11 月 12 日、下記の 3 校に支援金を送りました。

サルム・ジャネ中学校に	100,000 円（480,000Fcfa）
ンジャゴ小学校に	50,000 円（240,000Fcfa）
サーバシ・チャム小学校に	50,000 円（240,000Fcfa）

★現在、セネガル政府は、中学校進学、中学校教育充実に力を入れています。実際、現代社会で生きていくためには、中学校卒業程度の学力（特に公用語のフランス語）が必須です。これらを考慮し、サルム・ジャネ中学校へは、従来の 2 倍の支援金を送りました。

★バオバブの会では、1999 年の発足時より、支援先の学校には、バオバブの会よりの支援金を管理・運用するための運営委員会を作っていただいています。今回、前年度送付の学校情報フォームの回答により、サルム・ジャネ小学校の運営委員会が良好に機能していないことが明らかになりました。そのため、2010 年度は、サルム・ジャネ小学校への支援を見送り、運営委員会の改善要望書を送りました。

(3) 障がい児支援

アマディ・ジャロさんが会長をつとめる、AESEH (Amicale des Enseignants Souteneurs des Elèves Handicapés 障がい児童を支援する教師の会) は、ファティックから10キロほど東のMbellacadio (ンベラカジャオ) 地区の4つの学校に勤務する、8人の先生で構成されています。2008年に同地区にある19の小中学校で調査したところ、約60人の障がい児がいることがわかり、NGO ワールド・ビジョンの援助で、この子どもたちに、車椅子、松葉杖、学用品などを贈りました。「障がいがある子どもたちでも、充分、健常児に負けないでやっていく能力がある」ということを子どもたちの両親に理解させていく、というのが、ジャロさんのグループの“困難だが重要な活動ポイント”だそうです。

バオバブの会では、2010年12月、ジャロさんのグループに、初の支援金、50,000円 (287,433 Fcfa) を送りました。今後、ジャロさんのグループから提供していただく、具体的な活動内容や成果と課題などの情報を、バオバブの会が支援する4つの学校の教育活動にも役立てていきたいと思います。

(4) サーバシ・チャム小学校図書館

2009年10月21日に送付した200,000円 (800,000Fcfa) のうちの100,000Fcfaで、2010年春に、図書館内の本棚が作られました。2009年12月に送った、図書館用品 (カバー用クリアファイル、スタンプ、スタンプ台、ラベル、ルーラー、はさみの22,016円分) と、川邊さんより寄附の、図書カード、カードボックスも、2010年秋に学校へ届けられました。

(5) 学校交流

サーバシ・チャム小学校図書館開館のもようを中心にビデオを作製し、過去に、毎年、寄附を下さっていて、サルム・ジャネ小学校とアルバム交換による交流の経験もある、横浜市保土ヶ谷区の笹山小学校で上映し、セネガルと日本の小学校交流を進めたい、ということで、2010年1月22日に40,000円を送りました。が、2010年中に図書館が開館できなかつたため、この40,000円は、バオバブの会の現地代理人、ジム・チャムさんの口座に保管されています。

●2011年度の活動計画 (国内)

(1) イベント参加

- ・本年もまた、春のアフリカン・フェスタ、秋のよこはま国際フェスタに出展する予定です。

(両フェスタとも、日時・会場未定)

- ・Africulture アフリカルチャー主催「セネガル物語」に参加します。(詳細は p.5 をご覧ください)
- ・NGO ゴスペル広場主催「第三回 GOSPEL FOR PEACE」に参加します。

月日：6月18日 (土) 時間未定

会場：新宿文化センター

詳細は次号でお知らせします。

(2) 会独自のイベント

セネガルとバオバブの会の活動をより理解していただくためのイベントを開催する予定です。

(3) ホームページ開設

●2011年度の活動計画（セネガル）

（1）定期支援

サルム・ジャネ中学校へ 100,000 円、

サルム・ジャネ小学校、ンジャゴ小学校、サーバシ・チャム小学校へは、それぞれ 50,000 円

（2）サーバシ・チャム小学校図書館の開館

（3）コンクリート教室新設

現在、下記の2つの小学校で、6 教室のうちのひとつが、乾季専用で雨季には取り壊さなければならぬ、藁作りの教室です。これを、コンクリート作りの教室に変えていきたいと思っております。（2校で 700,000 円の支援を予定）

ンジャゴ小学校 学校と村人の自助努力により既に半分以上できているので、支援して完成。

サーバシ・チャム小学校 新設。ンジャゴにならない、まず、現地の自助努力をうながします。

（4）ベンチ付き長机を支援

常に不足していて要望の多い、ベンチ付き長机を、4校に補充します。（全部で 900,000 円の支援を予定）

（5）障がい児支援

ジャロさんグループへの支援をおこないます。

（6）学校間交流

2010年9月8日付けのサーバシ・チャム小学校のコリー先生からの手紙の中にも、「日本の学校との交流を推進したいと思っています」という一節がありました。今年こそ、サーバシ・チャム小学校図書館開館、また教室新設、ンジャゴ小学校の教室完成などをビデオ撮影し、セネガルと日本の小学校交流を推進していきたいと思っております。

♥♥ Kさんからのご挨拶 ♥♥

*総会で代読された原稿を、ご本人の了解を得て、一部、省略して掲載させていただきました。

会員ならびにサポーターの皆さま

わたくしごとではございますが、3月下旬から2年間、青年海外協力隊員としてネパールへ派遣される予定となりました。それに伴い、バオバブの会・運営委員の会計業務を退任させていただくことになりました。任期を1年残しての途中退任という形になり、いろいろとご迷惑をおかけしますことをまずはお詫び申し上げます。また、会計業務を遂行するにあたり、ご助言・ご協力くださった運営委員の皆さまにも深く感謝申し上げます。

これから2年の間は、直接会のお手伝いをするには出来なくなりますが、間接的にできることを探して、これからも会のサポートを続けていければと思っております。そして、2年間の活動を通して得たものをその後の国際協力活動に生かしていけるようたくさんのことを学んできたいと思っております。

バオバブの会の活動を通して、さまざまな素敵な出会いや勉強の機会を得ることができました。これからも、皆さまからの変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう切にお願い申し上げます。

重ねて、これまでの感謝を申し上げます。ありがとうございました。そしてこれからもよろしく願い致します。

2011年1月30日 K

***** サーバシ・チャム小学校からの手紙 ***** (要約)

サーバシ・チャム小学校の子どもたち、教師、そして父兄一同より、バオバブの会を支援されるすべての皆様に、新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方にとって、2011年が、幸福と健康と成功と繁栄の1年となりますように。

先日、バオバブの会の現地代理人である、ジム・モマール・チャム氏より、2010～2011年度の支援金240,000Fcfaを確かに受領いたしました。今や慣例のようになりました、このご支援は、子どもたちの学習活動と教師たちの教育活動、そして、学習環境の改善に、たいへん役立っております。一同、心から感謝申し上げますと共に、バオバブの会に関わるすべての皆様に、支援金の使途、また子どもたちと学校の状態他について、今後とも、詳しくご報告をしていかなければならないと思っております。

さて、本校では、この支援金受領後の12月7日に、教師と父兄代表による運営委員会を開き、240,000Fcfaと、昨年度の残金17,850Fcfa、合計257,850Fcfaの使途について話し合いました。その結果、以下の4点を改善・充実させることになりました。

1. 給食・・・給食は、学校から遠い集落に住んでいる子どもたちの、入学と毎日の通学を促進します。
2. 学校菜園整備・・・給食の内容を充実させることができます。
3. 補習授業・・・教員が時間外授業をすることで、子どもたちの学習時間が増え、学力が向上します。
4. 学校薬局・・・当校は、大きな医療設備のあるところから遠く離れているため、日常的には、村の診療所を使っています。そこで、診療所と話し合い、学校側が薬品を購入することで、1年間、無料で診察を受けられる、という契約を結びました。
5. 予備費・・・会計が管理し、予期できない出費に備えます。

ところで、昨年、本校は、近隣の6校と共に、あるコンクールに参加しました。このコンクールのテーマは、「tabananiと私の学校」といって、“tabanani(タバナニ 日本名：南洋アブラギリ)という木を学校に植えることが、どのように教育と学習活動に役立っていくのか”というものでした。このコンクールの結果、学校と3人の生徒が賞を獲得し、800本のタバナニで学校のまわりに柵を作ることができました。

最後に、もう一度、本校の教育と学習環境のためにご尽力くださる、バオバブの会と会に関わるすべての皆様に、心からの感謝を申し上げます。

2011年1月6日

クール・サーバシ・チャム小学校校長 ウスマン・サンゴール
運営委員会事務局長 コリー・ジョーヌ

バオバブの会 代表 エル・ハッジ・マサンバ ディウフ
〒240-0052 横浜市保土ヶ谷区西谷町 993-35
TEL&FAX 045-373-0059
寄付振込先: 三菱東京UFJ銀行八重洲通り支店普通口座 no.1523673
ゆうちょ銀行振替口座 00200=1 45215

神奈川県民力発揮プロジェクト 「セネガル物語」

♥主催：Africulture アフリカルチャー主催 共催：神奈川県役所

♥月日：2011年3月6日（日）

♥会場：横浜市神奈川公会堂（地図参照）

JR 東神奈川・京急仲木戸下車 徒歩4分 東急東横線東白楽下車 徒歩5分

♥イベント内容

開場	11:30	
アフリカ太鼓の体験コーナー	11:30~12:30	参加費 500円（当日先着順）
		講師：ラティール シー
お話しコーナー	13:00~14:00	無料
		講師：エル・ハッジ・マサンバ ディウフ
コンサート「アフリカ物語」	14:30~16:00	
		（大人）前売り 1,000円 当日 1,500円 （中学生以下）前売り、当日共 500円
		*大人1名につき、未就学児1名まで膝上無料

♥コンサートチケットのお申込み

*ハガキか FAX に、氏名・住所・希望枚数を明記の上、神奈川県民活動支援センター「子がめ29」まで

〒221-0824 横浜市神奈川区広台太田町3-8 FAX 番号：045-314-8890

*Eメールでもお申込できます。 → アフリカルチャー africulture@kif.biglobe.ne.jp まで

♥♥アフリカダンスとジャンベのパフォーマンス、ワークショップ、料理教室などで、セネガルとアフリカの文化を伝える、Africulture アフリカルチャーHP:<http://www7a.biglobe.ne.jp/~africulture/>が主催する、大人も子どもも楽しめるイベントです。

コンサートの収益の一部を、バオバブの会に寄附してさせていただきます。

また、バオバブの会は、会長のセミナーの他に、ロビーで展示による活動紹介、2Fのセミナー会場でケバサック、アフリカ関連絵本などの販売をおこなう予定です。

多くの皆様のご来場をお待ちしています。

